

令和7年度岡崎市防災会議 会議録

1 開催日時

令和8年2月18日（水）午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所

岡崎市役所東庁舎2階大会議室

3 出席委員（敬称略）

藤井則彦 佐藤正裕 鈴木健夫 水野償（加藤武嗣代理）
吉田光宏（藤澤智史代理） 萩野秀範 近藤聡 黒瀬元泰
松山和司（塩谷武典代理） 浅岡克徳（安藤直哉代理） 稲垣和人 八木俊治
鈴木晃 伊藤雅章 中田利隆 松原克彦（稲垣良和代理） 加藤秀章 内堀充敏
織田盛久 浅岡悦子 長坂秀志 伊東若一（天野保弘代理） 荒木裕子 米村篤史
浦野愛（オンライン出席） 新海幹代 石川康雄（森崎健吾代理） 成田昌彦
野田元陽（酒井英二代理） 加藤卓司

4 説明のために出席した職員

市民安全部防災担当部長 小林也寸志	防災課長 勝上典
防災担当課長 加藤智之	防災課防災企画係長 小嶋和也
防災課防災企画係主事 柴田智隼	防災課防災企画係主事 花木美来
防災課防災企画係主事 橋本遥夏	

5 傍聴者

1名

6 会議次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 議題
岡崎市防災施策の取組
岡崎市地域防災計画の修正の要旨
- (4) その他
- (5) 閉会

7 議事の要旨

開会のことば

<事務局>

予定の時刻となりましたので、ただ今から令和7年度岡崎市防災会議を開催させていただきます。委員の皆様にはお忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本日の進行を務めさせていただきます、岡崎市市民安全部防災担当部長小林でございます。よろしくお願いいたします。

まず、本日の会議につきましては、ご出席いただいた委員の数が岡崎市防災会議条例第8条第2項の定数を超過しており、会議の開催及び会議での議決が有効でありますことを報告いたします。

出席者及び代理出席者の皆様につきましては、お手元の資料、出席者名簿の配布により報告に代えさせていただきます。欠席者につきましては、岡崎市 内田会長、NTT西日本株式会社 本多委員、減災と男女共同参画研修推進センター 浅野委員、一般社団法人岡崎薬剤師会 高村委員の4名でございます。なお、内田会長の欠席については、岡崎市防災会議運営要綱第2条に基づき、鈴木副市長を代理いたします。また、認定NPO法人レスキューストックヤード 浦野委員には、オンラインでご出席いただいております。

それでは、本会議の会長代理である鈴木副市長からごあいさつ申し上げます。

あいさつ

<鈴木副市長>

皆様、こんにちは。副市長の鈴木であります。本日は、ご多用の中、岡崎市防災会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃から本市の防災力向上に、多大なるお力添えをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に自然災害が激甚化・頻発化するなか、この地域においては、南海トラフ地震がいつ発生してもおかしくない状況にあります。また、昨年9月、本市に襲来した台風15号による被害を踏まえまして、実行性のある防災対策を一層推進していかねばなりません。

今後も皆様との連携を一層深め、防災・減災対策の強化に取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、活発なご意見をいただきますよう、お願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

<事務局>

ありがとうございました。議事に移る前に2点、ご報告申し上げます。

1点目ですが、本会議は、岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要綱の規定により、公開となります。なお、本日は、傍聴希望者が1名おられます。入室についてご了承下さい。

2点目は、岡崎市国民保護計画の修正に関してです。岡崎市国民保護計画につきましては、統計の時点修正、語句の整理など変更点が軽微であり、それらの修正について本会議に諮る必要がない旨を愛知県に確認しておりますことから、本日の議題とはしておりませんので、よろしくお祈いします。

それでは、議事に移ります。本会議は、岡崎市防災会議条例第4条の規定により会長が総理することになっておりますので、これより進行を会長代理、鈴木副市長にお願いいたします。

<鈴木副市長>

それでは、これより議事に入ります。本日の議題は、次第の2件です。各議題について、事務局から説明を行い、その後に皆様からご質問、ご意見をいただく形で進行いたします。

議題1について、事務局の説明を求めます。

議題

<事務局>

議題1について「資料1」により説明

<鈴木副市長>

ただ今、事務局から説明のありました議題1「岡崎市防災施策の取組」について、3人の方々にご意見をいただきたく存じます。

豊橋河川事務所 稲垣委員の代理で御出席いただいている松原様、京都府立大学の荒木委員、岡崎市消防団連合会 八木委員の順にご発言いただけますでしょうか。まず豊橋河川事務所 松原様、お願いします。

<松原様>

国土交通省豊橋河川事務所副所長の松原と申します。本来であれば事務所長である稲垣がお話するところですが所用で欠席しておりますので、私からお話させていただきます。「矢作川洪水を『災害にしない』ための挑戦」というところで、命を守るための取組としては、全国の自治体で初めて協定を締結したということで、とても先進的な取組です。ぜひ、今後検証をしていただき、発展させていくことに期待しておりますので、今後ともよろしくお祈いします。

<荒木委員>

荒木です。よろしくお願ひします。ご説明いただきありがとうございます。

色々なことに取り組みだれていて、特に矢作川の広域避難については、私が名古屋大学にいたころに始まり、技術が追いついてきたことで、よりリアリティのあるものになってきたことが素晴らしいと思っています。

今年度直接的に関わらせていただいたのは、宮崎学区の孤立の取組みについてです。ワークショップに何度も参加させていただいて、非常に勉強になりました。どれだけ宮崎学区の人とつながりは強いのかと、どうにか生き抜いていけるのだろうかということがよく伝わりました。素晴らしい地域での取組でした。一方で、ワークショップでも地域の方が地域内におられる場合は可能という話が出ました。能登半島地震はお正月だったので地域の方が、地域内にいましたが、それが例えば、日中は外で働きに出ていたり、学校に行っていたりという状況だと、地域に若い人が少ない状態に対応できるのかという問題も挙がりました。また岡崎市の職員の方も毎回参加されていて大変だったと思いますが、一方でその地域の問題に対して自分たちは何ができるのかということを考える良い機会になったのではないかと思います。先ほど目標管理型災害対応のご説明の中で人材育成計画の話も出てきたと思いますが、人材育成計画を作ろうとすると、岡崎市として何をを目指すのか、どういう組織を目指し、地域との関係においてどういった人材を育成するのかということに関係してくると思います。つまり現場に職員が入ること自体が人材育成でもあると思います。負担だとは思いますが、是非引き続きやっていただきたいと思います。また防災課の職員だけではなく他の職員も一緒に行っていただくと、「災害対応は防災の職員だよ」ではなく、「自分たちも力になれることがあるんだ」という気づきや、特に災害時を見据えて地域の方と顔なじみになるという意味でも非常に良いと思います。平常業務の負担も大きいと思いますが、是非そういった仕組みをご検討いただくと良いと思います。

<八木委員>

岡崎市消防団連合会会長の八木と申します。先ほど防災課から消防団との連携強化、特に水防活動に関する取組についてご説明がありました。これを受け、消防団連合会として発言させていただきます。

今年度、市の防災部門と消防団は災害時の連携強化に向け、指揮命令系統の整理を含めた課題の検討を進めて参りました。その中、昨年9月の台風15号に伴う大雨では、市内各地で浸水や道路冠水の被害が発生しました。この際、検討してきた指揮命令系統に基づき、災害対策本部から消防の警防本部を經由して消防団へ出動指令が行われ、避難情報が発令された地域での広報活動や冠水箇所の調査、警戒活動

など 11 件の出動に対し 14 消防団、29 部、団員 120 名が活動にあたりました。消防団としましても連携強化の取組が実際の災害に繋がった点は大きな成果であったと受け止めています。来年度は引き続き、市防災部局との連携を図り、消防団による水防活動マニュアルの作成などを進め、地域防災力の向上に努めてまいります。以上です。

<鈴木副市長>

ありがとうございました。他に御質問等ございませんでしょうか。

それでは、御質問等は尽きたようですので、議題 1 はこれで終了とし、次の議題に移ります。

続いて議題 2、地域防災計画の修正について事務局の説明を求めます。

<事務局>

議題 2 について「資料 2-1、2-2、2-3」により説明

<鈴木副市長>

ただ今の事務局からの説明につきまして御質問、御意見等はございませんでしょうか。

御質問等はないようですので、議題 2 についてお諮りします。原案のとおりにすることに御異議はございませんか。

御異議は無いようですので、原案のとおり決定することとします。

それでは、本日の議題については以上となります。続いて次第 4、その他でありますが、事前に内堀委員から報告のお話をいただいておりますので、内堀委員お願いいたします。

その他

<内堀委員>

岡崎市医師会の内堀でございます。お時間拝借して御報告させていただきます。

昨年のこの会議で地域医療 BCP 協議会を立ち上げたいので、皆様のご協力をお願いしたいということで発言をさせていただきました。その後の進捗状況について、簡単にお話させていただきたいと思います。特に保健部を中心として、災害時の医療計画について協議をしていく中で、今回は外部機関だとミクスさんとお話をする機会をいただきましたし、あるいは防災課さんにも会議に参加していただく形で、西三河南部・東三河医療圏の参集訓練を今年度は行うことができました。先ほど申し上げましたのは、第 4 回までは岡崎、幸田災害医療体制検討会といった名目で会議を持たせていただいて、先ほどもお話が出ましたような災害時の通信システムの

変遷についても防災課さんからご説明をいただき、こちらの体制を考えているところでございます。

話が前後しましたが、12月21日に西三河南部・東三河医療圏の参集訓練を行いました。今日参加しています織田先生、高村先生をはじめ3師会と共に、岡崎保健所、西尾保健所が西三河南部・東三河医療圏の統括を行うということで、西三河南部・東三河医療圏としての訓練を初めて行うことができました。この中で課題もたくさん浮き彫りになりました。やはり、通信手段の確保は、先ほどお話にも出たスターリンクについては、岡崎市さんの方で整備を進めていただいております、市民病院やげんき館には入りますが、医師会の参集拠点には無いといった時にどうするのかはひとつの今後の課題だと思います。これにつきましては、引き続きご協力をお願いしながら進めてまいりたいと思います。

今後の課題として考えているのは、避難所の問題です。あるいは災害時の要配慮者への対応として、福祉担当の理事にも医師会本部に配置をして福祉部門との連携を今後進めていきたいと思っておりますので、長寿課さんや福祉部にもご協力をいただいで連携を進めていきたいと思っております。ネットワークが大きくなると、どうしても通信環境などにご協力をお願いすることも増えてくると思っておりますが、今後ともご指導いただければと思います。御報告とさせていただきます。

<鈴木副市長>

内堀委員ありがとうございました。その他に御意見はございませんでしょうか。

<浦野委員>

レスキューストックヤードの浦野です。説明いただきありがとうございました。資料1の「避難生活支援の地域リーダーを育てる」について、元々内閣府の事業ですが、研修プログラムの作成とモデル事業、今年度行った自走型の事業について、レスキューストックヤードも講師及び企画の運営サポートという形で関わらせていただいております。この事業自体は今後10年かけて全国各地のすべての市町村で同様の研修を実施していこうという目標設定のもと、進められていますが、岡崎市さんのようにモデル地区を経て、自走式で継続しながらやっていくところはまだまだ少ない状況です。今後なるべく継続していただきたいのと、私たちNPO側も最大限お手伝いしていきたいと思っております。ただ、研修は2日間の構成になっていますが、避難所運営に纏わる細かいところまでを2日間ですべて勉強することは難しいので、プラスでフォローアップ講座のような形で、市で養成された人たちがお互い交流して勉強の機会を作っていく、スキルとモチベーションを維持していくような働きかけも併せてできるようになると良いと思っております。

もうひとつは、避難生活の良好な生活環境確保に向けた修正というところで、避

難所だけでなく避難生活全体を捉えた時に在宅避難者の人たちの支援も今後かなり重要視されていくと思っています。避難所が在宅避難者の支援拠点としてきちっと機能させようということで国のガイドラインにも明記されています。地域内の避難所立ち上げ訓練にも、そこを意識した要素が入っているかということも、情報提供していただけるようでしたらお願いします。もし含まれていない場合は、今後そういったところも見据えて整備が必要だと思いました。

最後に、2025年と2008年と岡崎市も水害があつて、特に内水氾濫に関しては被害が見た目では非常に分かりにくいということで、かなり地域を回っていかないと支援が必要な人たちに辿り着けないという状況があつたと思います。社協さんが災害ボランティアセンターの設置をしながらきめ細かく対応されるということで動かれてはいると思うが、市で把握されている罹災証明書の申請状況や自主防災組織から上がってくる情報などを災害ボランティアセンターとも共有することで、できるだけ早く個に支援が届くという流れもできると思います。そのあたりの連携に関してどう整備していくかということも今後の課題としてご検討いただけたらと思っています。以上です。

<鈴木副市長>

浦野委員ありがとうございました。他に御意見はございませんでしょうか。事務局からは何かございますか。

<事務局>

特にございません。

<鈴木副市長>

本日は長時間にわたり、御協力をいただきありがとうございました。

今後とも、本市の防災行政につきまして、皆様から変わらぬ御指導、お力添えを賜りますようお願い申し上げます、議事を終了とさせていただきます。

会議の進行を事務局にお返しします。

閉会

<事務局>

皆様、本日はありがとうございました。

以上を持ちまして、令和7年度岡崎市防災会議を閉会とさせていただきます。